

3. 熱田天王祭(熱田大山祭) 中世からの伝統の祭り

熱田神宮の攝社、南新宮社(唯一朱塗りの社殿)の祭礼で、往古から毎年6月5日に祭礼が行なわれた。一条天皇の御代、疫病が全国に流行し、熱田の地でも病魔で倒れる者多く、疫神を祀って平穩を祈った。文明年間(室町時代)に大山、車樂が造られ、この祭礼が始められた。天王祭或いは大山祭と称した。

大山は田中町、大瀬子町、旗屋町の各町に3輛、車樂は市場町、中瀬町、須賀町、神戸町、富江町、伝馬町に6輛造られた。年々各町交代に大山1輛、車樂2輛を曳き出した。大山にはからくり人形、車樂には能人形が飾られた。大山は20メートル以上の高さがあり、日本一の大きさを誇った。

<年番> 市場(先車) 田 中(大山) 神戸(後車)
伝馬(先車) 大瀬子(大山) 中瀬(後車)
富江(先車) 旗 屋(大山) 須賀(後車)



旗屋の大山は、宝歴年間に火災で焼失した、或るは祭礼日に倒壊したため廃車したとも伝えられている。大瀬子の車は明治27年の祭礼を最後に明治末年廃車となり、市場の車樂も昭和の始めに廃車となった。他の6輛は明治31年頃、市内に電線が張られ奉曳が出来なくなり廃絶となった。昭和2年の熱田神宮千八百年祭の折、田中大山、市場車樂、伝馬車樂の3輛が飾られた。昭和10年の御遷座祭には、廃車の大瀬子、市場以外の6輛が飾られた。

■年番 1

市場車楽(先車)



田中大山



神戸車楽(後車)



■年番 2

伝馬車楽(先車)



大瀬子大山

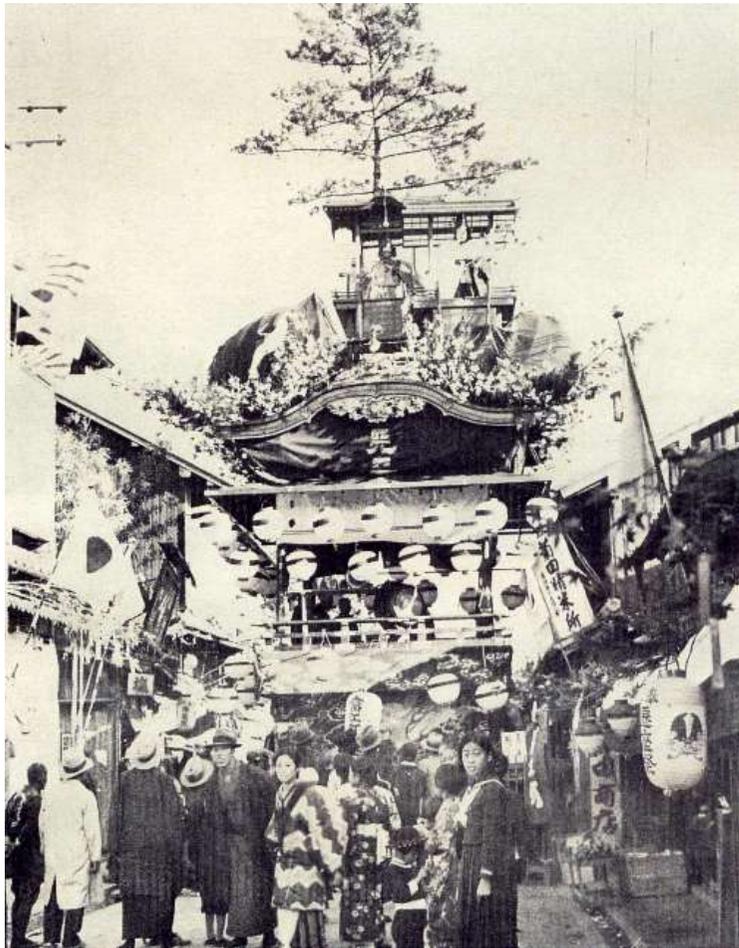


中瀬車楽(後車) 現存



■年番 3

富江車楽(先車)



旗屋大山

江戸時代に廃車となる

廃車説(二節有)

- 宝歴年間に火災で焼失
- 祭礼日に倒壊

須賀車楽(後車)

